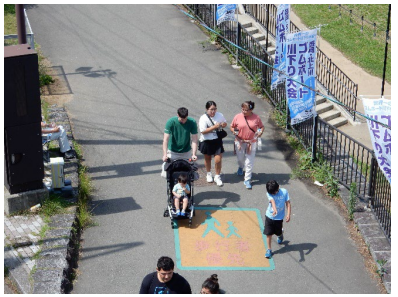
# モニタリング・フォローアップについて（最終報告※）









（1）モニタリング実施概要
（2）R3年度～R7年度（R8.1迄）の実施結果（個別抜粋）
（3）5年間のモニタリング結果のとりまとめ

※R7年度モニタリング調査結果については、R7.1段階のとりまとめとなっている

## モニタリング実施概要

H21年度から実施してきた盛岡地区かわまちづくりについて、事業完了後の事後評価のため、R3年度よりモニタリングを実施してきた。

### ■. モニタリングの目的

・かわまちづくりの目的に対する効果発現状況を把握
　└賑わいの創出、観光の推進、地域活性化（本懇談会の規約より）
・北上川総合水系環境整備事業事後評価に向けた資料収集

### ■. これまでの経緯

| 年度 | 実施内容 |
|---|---|
| R2年度 | ・モニタリング計画を作成 |
| R3年度 | ・モニタリング計画について、第15回懇談会（R3.7)にて意見交換<br>・モニタリング調査（1年目）<br>・2年目に向け、修正モニタリング計画を作成 |
| R4年度 | ・モニタリング調査（2年目） |
| R5年度 | ・モニタリング調査（3年目）<br>・モニタリング調査結果の中間報告：第17回懇談会（R5.12) |
| R6年度 | ・モニタリング調査（4年目） |
| R7年度 | ・モニタリング調査（5年目）<br>・モニタリング調査結果の最終報告：第18回懇談会（R8.2今回) |

## ■.モニタリング調査内容

| 観点 | No. | 調査の枠組み | 調査手法 | 指標 | 調査主体 | 調査詳細（調査時期・頻度または回数） | 調査により把握するかわまちづくりの取組み ハード 周遊・遊歩道・階段・サイン | ハード 景観・石積 | ハード 親水・船着場・スロープ | ソフト サケ | ソフト イベント | ソフト 活動団体 | 実施年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日常利用 | 1 | | 現地調査（水辺の国調） | 利用者数<br>利用形態 | 河川管理者 | 水辺の利用を的確に把握するための実地調査として、河川水辺の国勢調査（利用実態調査）に準じた現地調査を行う（事後評価前年度、春夏秋冬（年７回）※1） | ◎ | ○ | ○ | | | | R3、R5～7<br>（R3 は春季調査無し） |
| | 2 | かわまちモニタリング調査 | web アンケート | 市民の認知度<br>利用者意向 | 河川管理者 | 利用者の意向等を広く定性的に調査するため web アンケートを実施する。その際、過年度結果との比較を行えるよう留意する（任意・年１回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | R3～7 |
| | 3 | | SNS パトロール | 口コミ数 | 河川管理者 | 整備地区へのイメージ等を広く収集するため、北上川・中津川や沿川の施設に関する web 上の評価や口コミ等を収集する（適宜・年４回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | R3～7 |
| | 4 | | カウント調査 | 利用者数 | 河川管理者 | 日常的な利用者の数を把握する（河川巡視に準ずる・概ね隔週） | ◎ | | | | | | R3～7 |
| | 5 | 河川巡視 | 写真撮影 | 利用状況 | 河川管理者 | 日常的な利用状況を把握する。雑草被覆および河道内の大型樹木や岩、堆砂で河川の利活用が阻害されていないか確認する（河川巡視に準ずる・概ね隔週） | ◎ | ◎ | | | | | R3～7 |
| | 6 | | | 雑草被覆状況<br>河道内の状況 | | | | | | | | | |
| イベント利用（非日常） | 7 | イベント等による河川の占用調整（管理） | 占用申請書類 | イベント実施主体<br>イベント数<br>参加者数 | 河川管理者 | イベントによるにぎわいの創出状況を把握する。新規イベントの立ち上がりがないか確認する（随時） | ○ | ○ | ○ | | ◎ | ○ | R3～7 |
| | 8 | 舟運 | 舟運実験報告書 | 実施回数<br>利用者数 | 盛岡市（公） | 船着場の利活用状況を把握する（年間予定終了後※２・年１回） | | | ◎ | | ◎ | ○ | R3～7 |
| | 9 | サケを活かしたまちおこし | サケのぼり | 設置数 | 河川管理者 | サケのぼりの活用状況を把握する（設置後※２・年１回） | | | | ◎ | | | R3～4 |
| | 10 | | サケ冊子 | 配布数 | 河川管理者<br>盛岡市（観） | サケ冊子の活用状況を把握する（配布後※２・年１回） | | | | ◎ | | | R3～5 |
| | 11 | | | 活用状況 | 河川管理者 | 冊子配布先を対象に活用状況についてアンケート調査を実施する（実施後※２・2-3 年に１回） | | | | ◎ | | | （増刷予定がないため、未実施） |
| 参考データ | 12 | 市 統計調査 | 観光統計 | 観光入込客数 | 盛岡市（観） | かわまちづくりの間接的な効果として、観光入込客数の推移を確認する（2 月頃・年１回） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | R3～7 |
| | 13 | 市 施設管理 | もりおか町家物語館の運営 | 利用者数 | 盛岡市（観） | かわまちづくりの間接的な効果として、施設利用者数の推移を確認する（2 月頃・年１回） | ○ | ○ | ○ | | | | R3～7 |
| | | | 御蔵の運営 | 利用者数 | 盛岡市（観） | かわまちづくりの間接的な効果として、施設利用者数の推移を確認する（2 月頃・年１回） | ○ | ○ | ○ | | | | R3～7 |
| | 14 | 市 Park-PFI | 木伏緑地の運営 | 利用者数 | 盛岡市（公） | かわまちづくり（北上川）の拠点施設である木伏緑地の利用者数推移を確認する<br>（調査（例年 10 月末-11 月初）終了後・年１回） | | | ○ | | | | R3～7 |
| | 15 | | | イベント数 | | イベントによるにぎわいの創出状況を把握する<br>河川区域を活用したメニューは特に詳細に取りまとめる（イベント終了後※２・年１回） | | | ○ | | ◎ | ○ | R3～7 |

凡例　調査主体　　河川管理者：国土交通省岩手河川国道事務所、盛岡市（公）：盛岡市都市整備部公園みどり課、盛岡市（観）：盛岡市交流推進部観光課）、
調査（事業）の枠組み　　かわまちモニタリング調査：受注者がモニタリングを実施し取りまとめる、その他：受注者は調査実施主体よりデータを収集し、取りまとめる

備考　※１　調査実施日は河川水辺の国勢調査マニュアルに準ずる　（4/29;休日、5/5;休日、５月第３月曜日;平日、７月最終日曜日;休日、７月最終日曜日の翌日;平日、11/3;休日、１月第２月曜日;休日）

今回抜粋提示する項目

# No. 1 水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査

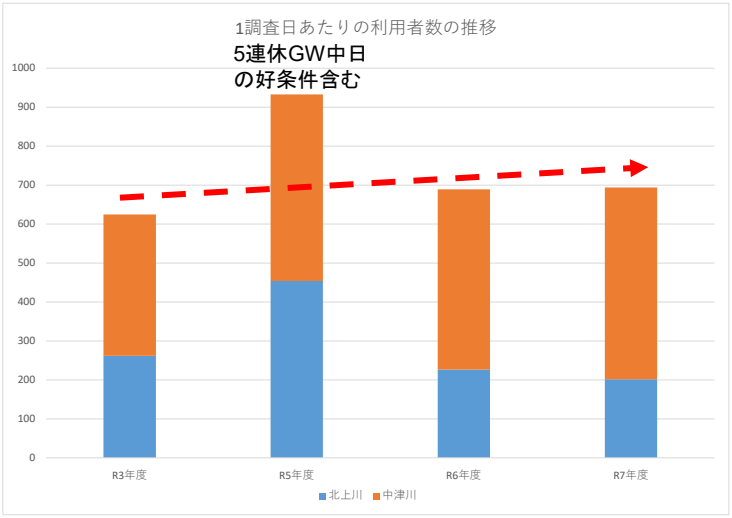
| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | 利用者数、利用状況写真 |
| 調査手法 | | 水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査 |
| 調査・事業の枠組み | | かわまちモニタリング調査 |
| 調査主体 | | 河川管理者 |
| 調査時期・頻度または回数 | | 4/29(土・祝)、5/5(金・祝)、15(月)、7/30(日)、31(月)、11/3(金・祝)、1/8(月・祝)・年7回 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | — |

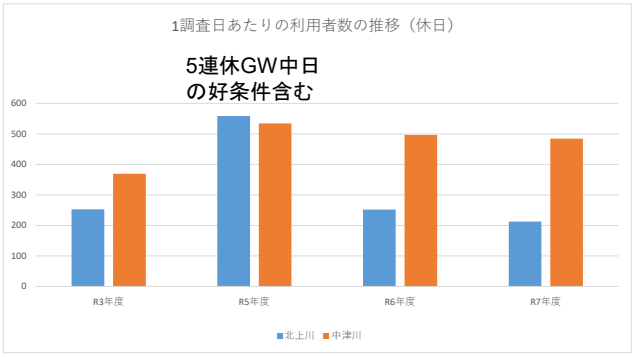
《定点調査の枠組み》

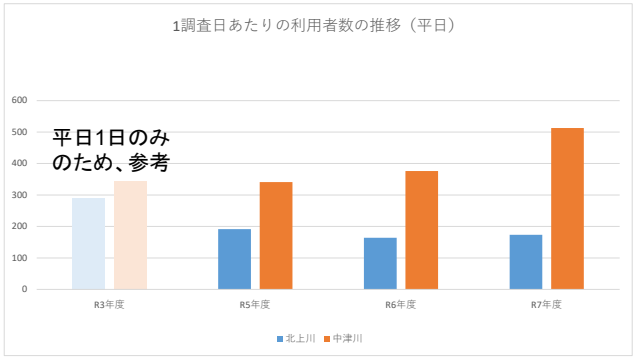
- 年7回の指定調査日に2時間ごとの利用者数をカウントし、各地点の合計を1日あたりの平均利用者数とする（北上川：不来方橋～夕顔瀬橋、中津川：毘沙門橋～富士見橋）

《経年変化》

- 全体傾向として、5連休GW中日の好条件調査日を含むR5年度が突出しているが、概ね横ばい~微増傾向である。



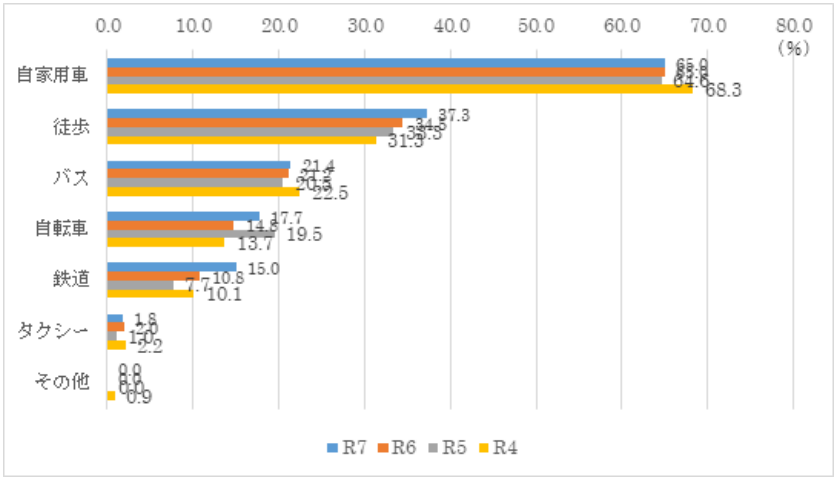

・平日と休日の別に見てみると、中津川においては休日の利用者は高止まりの状態であるが、平日の利用者が確実に増加傾向である。
・北上川においては、Ｒ５年度の休日が前述のとおり突出して利用者が多いが、平休日ともに利用者数は、横ばいの傾向であることがわかる。

※R3年度は、春季調査（休日2日、平日1日）が未実施であるため、1調査日当たりの平均で算出
※調査日のうち、終日雨天のR5.5.15、 R6.5.20、R7.1.12は、水国マニュアル記載の雨係数（2.85）を乗じて算出

# No. 2　webアンケート

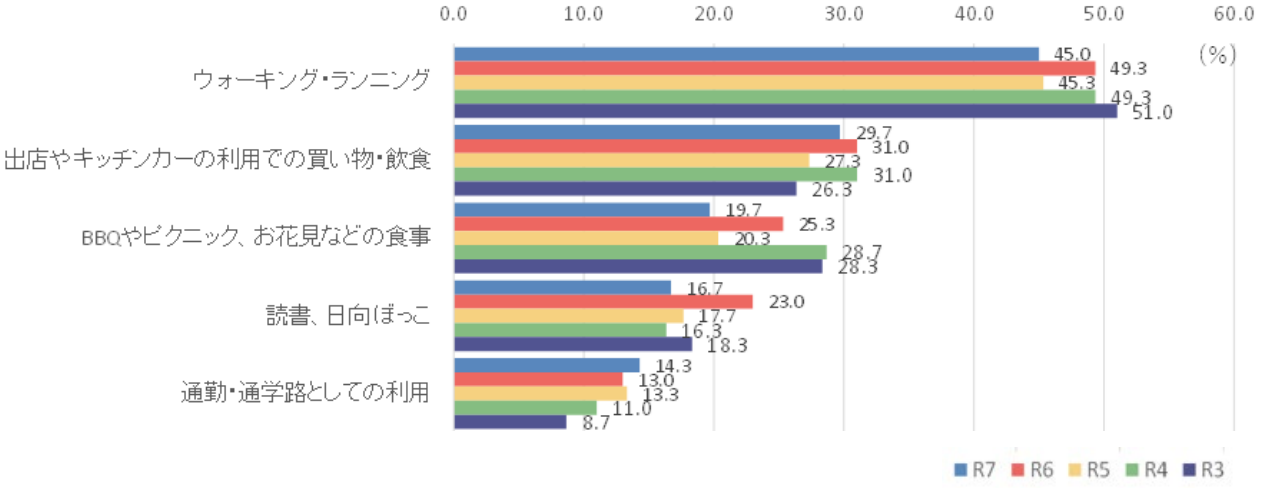
| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | 市民の認知度、利用者意向 |
| 調査手法 | | webアンケート |
| 調査・事業の枠組み | | かわまちモニタリング調査 |
| 調査主体 | | 河川管理者 |
| 調査時期・頻度または回数 | | 任意・年1回 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | サケ、イベント |

【イベント時の来訪手段】




- 来訪手段では一貫して「徒歩」が増加傾向であり、今後やりたいことでも、一貫して徒歩、ウォーキング・ランニング」が最多である。
- 総じて、環境の良さの周知が進み、楽しみたい方が増えている傾向が認められる。

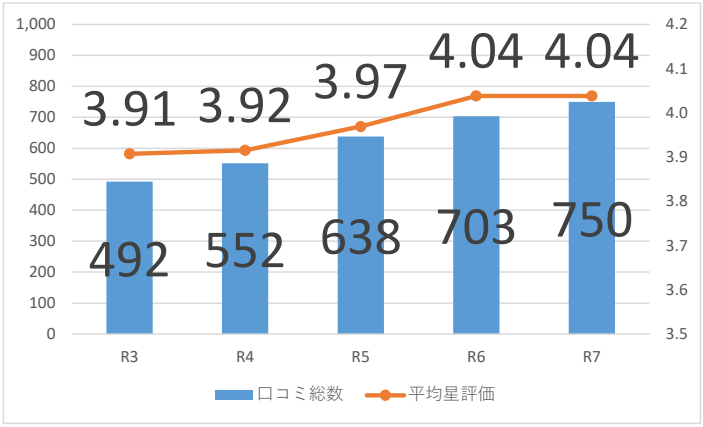
【今後やりたいこと】



# No. 3　SNSパトロール

| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | SNSの投稿およびリアクション数、口コミ数・内容など |
| 調査手法 | | web検索 |
| 調査・事業の枠組み | | かわまちモニタリング調査 |
| 調査主体 | | 河川管理者 |
| 調査時期・頻度または回数 | | 任意・年４回 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | サケ、イベント、活動団体 |

《Googleマップのクチコミ》




- かわまちづくり対象区間の橋梁（人道橋含む）+スポットのクチコミ総数、平均星評価共に伸びており、堅調に推移している。

収集内容例




《クチコミの投稿例》

- インバウンドの方の投稿も見られる。

Ricky Wan (Ricky)
ローカルガイド · 88 件のクチコミ · 674 枚の写真

★★★★★ 9 か月前

有一棵好大又好靚嘅櫻花樹，我與女兒在櫻花樹下玩到不亦樂乎，實在相當難忘。

翻訳を見る（日本語）

そこには大きくて美しい桜の木がありました。娘と私はその木の下で楽しく遊び、本当に忘れられない思い出になりました。

gaeshi kaeshi
ローカルガイド · 36 件のクチコミ · 55 枚の写真

★★★★★ 5 か月前

法事終わりでお邪魔しました　遠野のジンギスカン美味しくてホテルが近かったので100%リピあり確定

高評価　共有

（出典：Googleマップ）

# No. 5 河川巡視に併せた利用状況写真撮影

| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | 利用状況写真 |
| 調査手法 | | 河川巡視に併せて現地で利用状況の写真撮影を行う |
| 調査・事業の枠組み | | 河川巡視 |
| 調査主体 | | 河川管理者 |
| 調査時期・頻度または回数 | | 河川巡視に準ずる・概ね隔週 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | ― |

- 日常利用の様子を撮影した。



明治橋　ジョギング



開運橋　集い・遊び



中の橋　水遊び



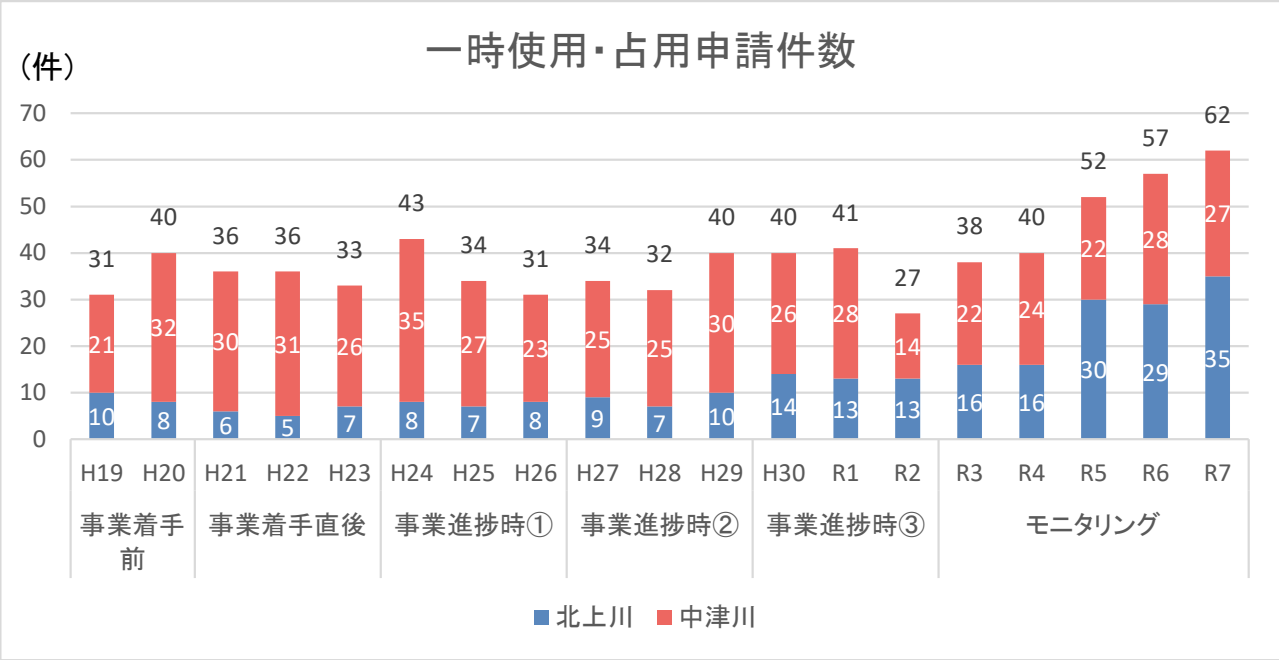
与の字橋　散策

# No. 7 一時使用・占用申請書類

| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | イベント数、イベント内容、参加者数、イベント時期 |
| 調査手法 | | 一時使用・占用申請書類を収集・整理する |
| 調査・事業の枠組み | | イベント等による河川の占用調整（管理） |
| 調査主体 | | 河川管理者 |
| 調査時期・頻度または回数 | | 随時 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | イベント、活動団体 |

《件数》

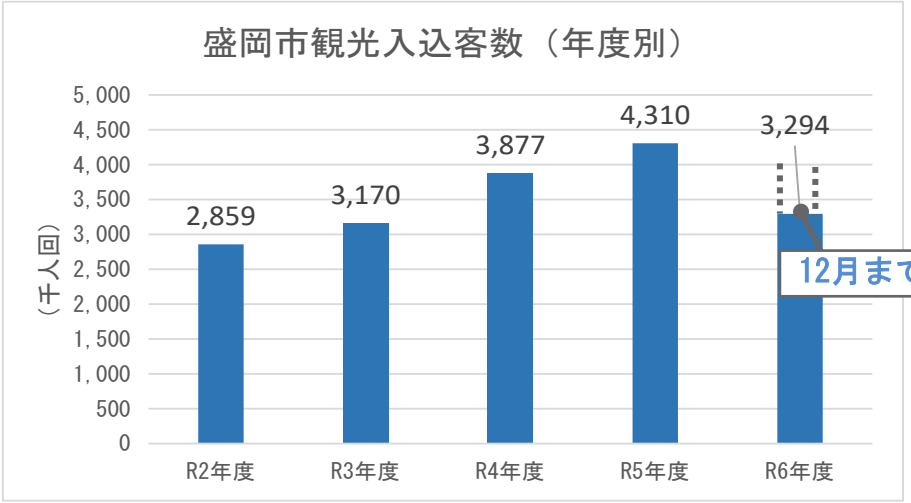
※中津川・北上川にまたがる申請は各1件としてカウント

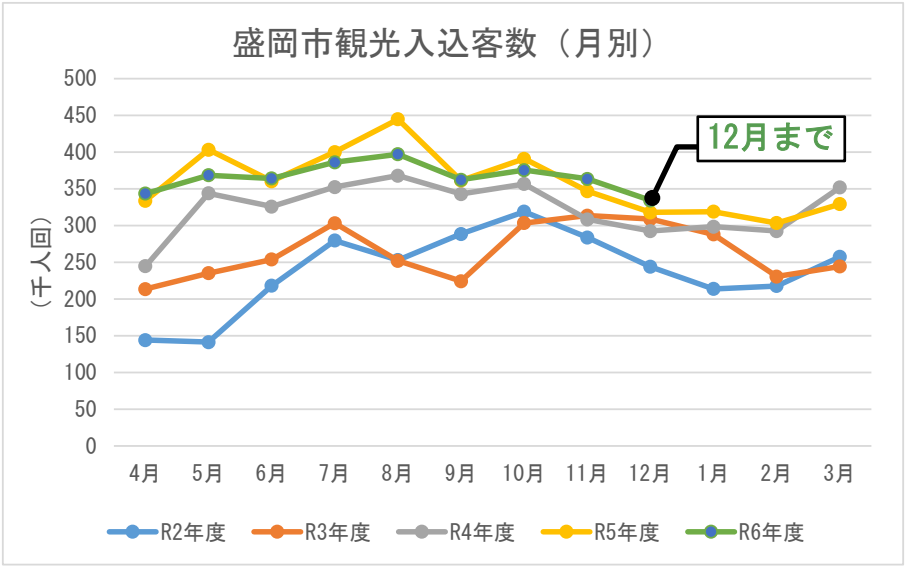



・一時使用・占用申請件数から、R3-R7年度のイベント等の河川区域の利用状況は、R2年度の新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による減少から回復し、感染症流行前の水準を超えてさらに増加傾向にある。

# No. 12 盛岡市観光入込客数

| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | 盛岡市観光入込客数 |
| 調査手法 | | 盛岡市よりデータを提供いただく |
| 調査・事業の枠組み | | 盛岡市 統計調査 |
| 調査主体 | | 盛岡市（観光課） |
| 調査時期・頻度または回数 | | おおよそ冬頃・年に1回 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | サケ、イベント、活動団体 |




・盛岡市の観光入込客数の推移として、増加傾向が見られる。

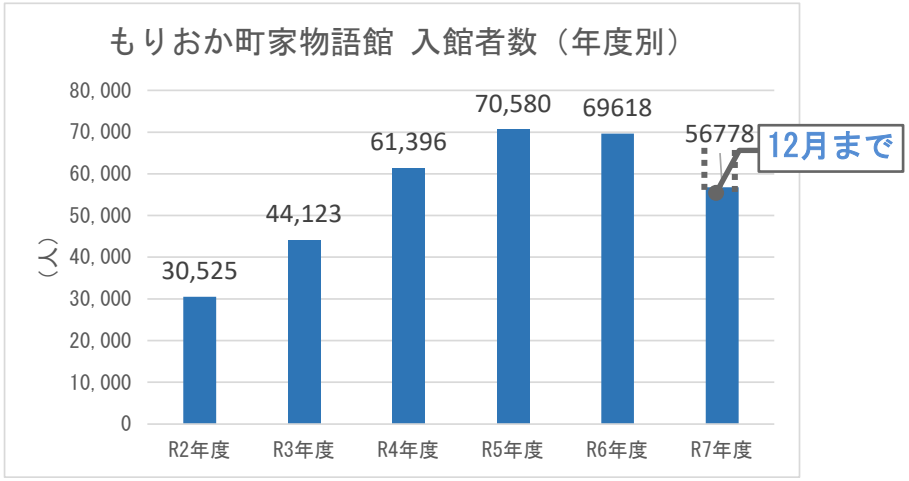
・令和5年1月にニューヨークタイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」において盛岡市がロンドンに次いで2番目となったことが広く周知されており、令和5年度は約10%増加している。

・月別では、令和6年度は令和5年度と比較すると5月、8月に減少が見られ、猛暑の影響等が原因と推測される。

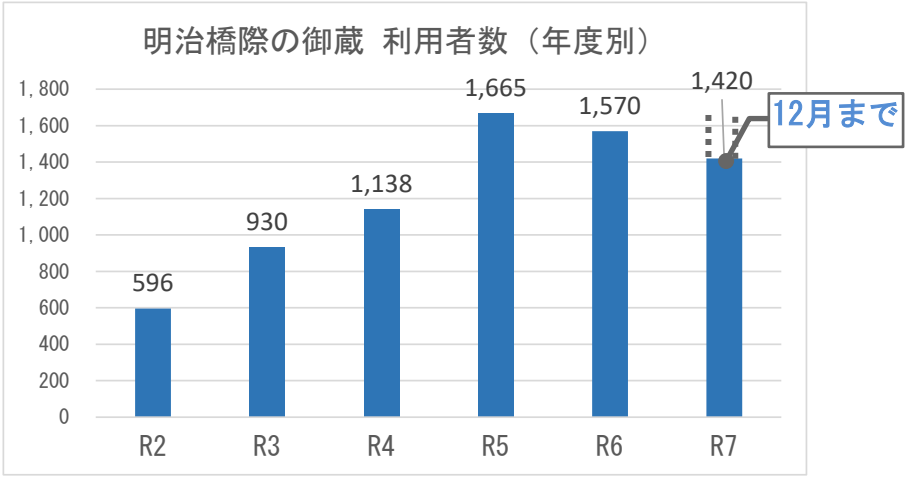
# No. 13　沿川集客施設の利用状況

| | | |
|---|---|---|
| モニタリング指標 | | もりおか町家物語館利用者数、御蔵利用者数 |
| 調査手法 | | 盛岡市よりデータを提供いただく |
| 調査・事業の枠組み | | 盛岡市 施設管理 |
| 調査主体 | | 盛岡市（観光課） |
| 調査時期・頻度または回数 | | おおよそ冬頃・年に1回 |
| かわまちの取り組み | ハード | 周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ） |
| | ソフト | イベント |

《もりおか物語館　入館者数》



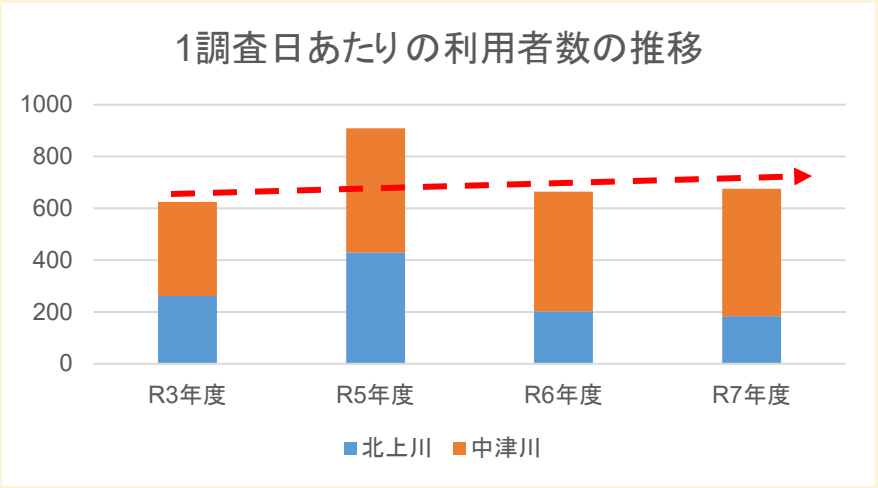

《御蔵　利用者数》



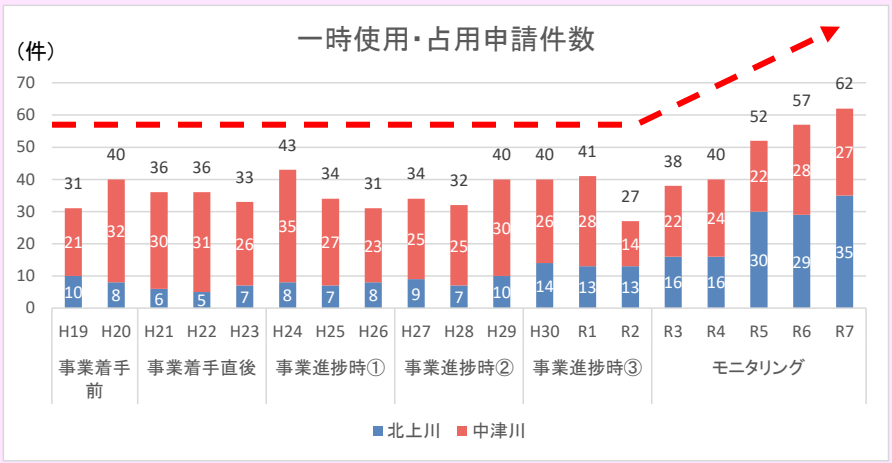

・もりおか町家物語館、御蔵の両施設ともにR2年度より増加傾向にある。

・R６年度には両施設ともに前年と比較して横這い～微減の傾向が見られたが、R7年度は12月までの数字ではあるものの、順調な伸びを示していると捉えられる。

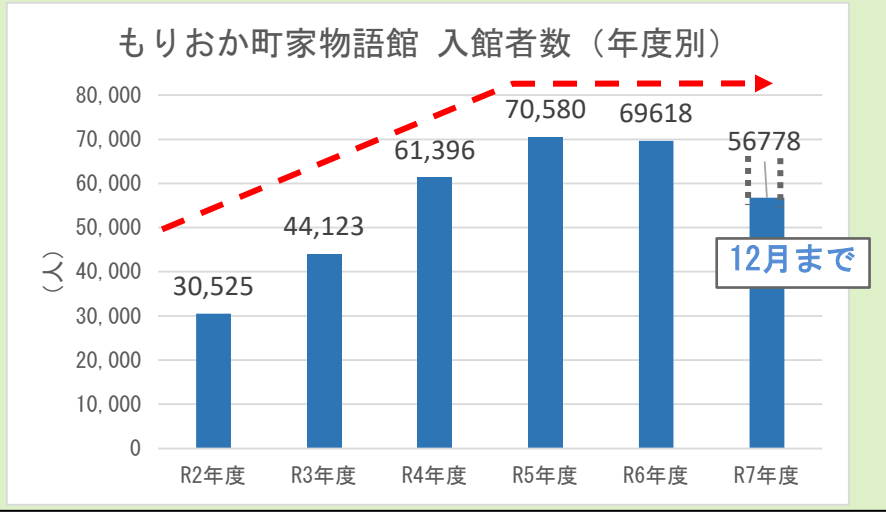
## ➢日常利用：R5が突出するが、微増傾向




## ➢非日常利用：コロナ以前水準よりも増加




## ➢周辺データ：R2以降増加傾向




⇒かわまちづくり事業による河川環境整備が完了したR2年以降、変わらない日常利用に加えて、イベント等の非日常利用が増加し、周辺施設の集客も増加している。

⇒にぎわい創出など地域活性化に一定の効果があったのではと考察される。